

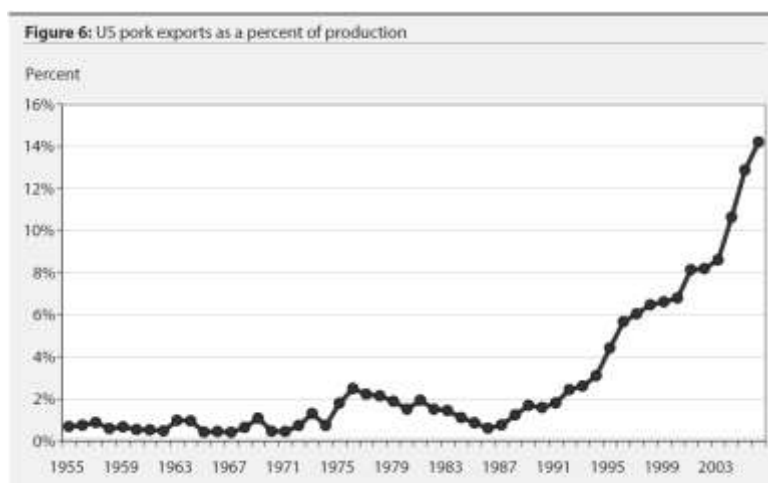
## アメリカの巨大養豚会社の構成(2006)

### 養豚巨大生産者のまとめ -- 2006

| 生産者名                  | 母豚数の規模                         |
|-----------------------|--------------------------------|
| スミスフィールド フーズ, バージニア   | 1,200,115<br>(アメリカだけでは995,325) |
| トライアンプ フーズ, ミズーリ      | 399,800                        |
| シーボード フーズ, カザス        | 213,600                        |
| アイオワセレクトファーム, アイオワ    | 150,000                        |
| プレステージファーム, ノースカロライナ  | 140,000                        |
| パイプストーンシステム, ミネソタ     | 130,000                        |
| マッシュホフス, イリノイ         | 116,000                        |
| カーギル, ミネソタ            | 87,000                         |
| マックスウェル フーズ, ノースカロライナ | 76,000                         |
| AMVC マネージメント, アイオワ    | 75,000                         |

By: Dr. Harold Hodson, JR.  
SGI,2010

2006年ですから若干古いですが、アメリカの巨大生産者のリストです。第一位のスミスフィールドフーズ社は、かつて巨大化規制の波を受けて80万頭レベルで抑えられていましたが、その後は海外での伸長も含めていつのまにか母豚数120万頭を越えていました。こうした食肉加工会社をはじめ食品会社が上位15社のうち7社を占めているほどです(食品会社は黒)。輸出依存のアメリカ養豚産業、主導的なのは輸出も担う食肉販売会社です。彼らの意向がなお一層大きくなっていく傾向があるようです(AASV 2007年、下のグラフ)。



アメリカの年度ごとの生産に対する輸出の割合を示したもの。  
過去10年で輸出が激増しているところに注目(昨年停滞したもののまた戻っている)。

以前は広く活躍していた飼料関連の会社はカーギル社だけとなってしまいました。生産者は、アイオワセレクト、プレステージなどは長く継続していますが、話題のパイプストーンシステムなど新しい生産者の共同体も上位に食い込んでいます。

2010年7月 グローバルピッグファーム(株)